

日々 往来



大山 陽久

日本銀行は、このほど「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入した。これまでの「量」と「質」に「マイナス金利」を加え、三つの次元で金融緩和を一段と強化していくものである。「マイナス金利」というと、異次元の政策のように感じるかもしれない

が、その政策波及経路は「金利の低下」と「ボトフオリオ・リバランス」を促すとともに、物価に関する「期待の変化」として、先月の若桜を図り、実質金利を引き下げていく点で、これまでの緩和策の延長線上に過度の緩和策の延長線に過すぎない。

すなわち、日銀当座預

金金利をマイナス化する

ことで、イールドカーブ

(利回り曲線)の起点を

引き下げ、大規模な国債

買入継続と併せて、金

利金利により強い下押し

買い继续と併せて、金

利金利により強い下押し

買入継続と併せて、金

の転換を遅延させるリスク（日本銀行鷹取事務所長）

マイナス金利の導入

クが生じており、今回の緩和は、そのリスクの頭在化を未然に防ぐことを目的としている。

鉄道85周年記念シンポジウムにおける県庁岡崎地域振興部長のスピーチは、「一人で見る夢は夢で終わる。みんなで見る夢は実現する」との言葉で締めくくられた。なるほど、地方再生だけでなく日本再生にもそのままで締めくくられた。なるほど、あまてはまる言葉であろう。今回の日銀政策決定をきっかけに、行政・民間ともに日本再生に対す

る思いを新たにし、デフレ脱却に向けた成長戦略に、あらためて一丸となって幅広く取り組んでいくことを期待したい。